

「怪しいと思ったら相談」愛産大工高生、中署員に学ぶ

交流サイト（SNS）を通して申し込み、犯罪の実行役となる「闇バイト」の実態を学ぶ授業が19日、中区伊勢山1の愛産大工業高校であった。講師の中署員が「闇バイトは犯罪。絶対にやらないで」と呼びかけた。

講師を務めた中署生活安全課の亀井亜希子警部補は「闇バイトはSNSを通じて募集され、ニセ電話詐欺の受け子や出し子、強盗などの実行役になる」と説明。「（応募すると）犯罪組織の手先として利用され、犯罪者にな

ってしまう」と強調した。

6月半ばには中区大須3の時計店で強盗未遂事件が発生し、逮捕された実行役ら4人が「闇バイトに応募した」と供述していることも紹介。「もし応募したバイトが闇バイトだったら、誰かに相談して必ずやめてほしい」と呼びかけた。

2年の杉浦市溪さん(16)は「闇バイトかどうかを見極めるため、仕事内容をネットで検索したり、先生に相談したりしたい。目先の情報にとらわれないようにする」と話した。2年の中西碧さん(16)も「怪しいと思ったら親に相談したい」と話した。（成田嵩憲）



闇バイトについて意見を発表する生徒＝中区の愛産大工高で

令和5年7月20日(木)

中日新聞より抜粋

